

MOROZOFF View



第81期報告書

平成22年2月1日～
平成23年1月31日



創立80周年を迎える、老舗モロゾフ

1931年8月、神戸トアロードから出発したモロゾフは、創立当初から品質とおいしさにこだわり、事業を展開してまいりました。そして2011年、創立80周年を迎えます。これもひとえに、皆様方のお力添えによるものと感謝しております。

今後は創立100周年に向けて、さらに魅力ある商品を提供し、発展してまいりたいと考えております。その一環として取り組む主要商品(6つの「C」)の育成については、P.5～6に掲載しております。



創立当時の商品
(チョコレート)



創立当時の従業員



ロマンのあるスイート モロゾフ

創立100周年に向けた、モロゾフ株式会社が取り組む姿勢を80周年記念ロゴに表現。今後のさらなる成長と発展を願う気持ちをアルファベットの「C」と∞(無限大)を意味する「8」に込めました。



創立当時の
カタログ



株主の皆様へ

利益創出構造の確立を目指し、社内改革を推進します。

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年3月の東日本大震災により被災されました皆様には心からお見舞い申し上げます。

当社第81期の業績をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。
当社を取り巻く環境は、急激な円高やデフレの長期化の影響から雇用・所得の改善は進まず、個人消費の低迷も続くなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。また、お客様の「食の安心、安全」に対する関心の高さは変わらず、低価格志向も根強く、限られたパイを巡っての企業間競争はさらに厳しさを増しております。

このような状況のもとで、当社はお菓子を通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢とし、商品の開発・改善により売上の向上に取り組むとともに、「すべてはおお客様の笑顔のために」をテーマに、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供し続けることに注力いたしました。

販売面におきましては、基本商品(チョコレート、焼菓子、チーズケーキ、プリン)の売上の向上、イベント商品の強化、創立80周年記念商品の発売、新設した市場開発部による新販路の開拓などによって着実な売上の獲得に努めてまいります。

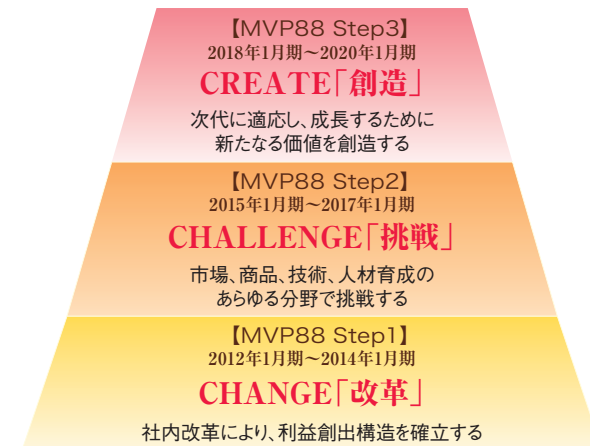
生産面におきましては、西神新工場の設備を活用して生産の効率化を図るとともに、さらなる品質の安定向上、市場即応型供給体制の構築を推進してまいります。全社的には、業務の効率化による経費・人件費の抑制など、利益改善に注力いたします。

なお、東日本大震災により、当社も東北および関東地方の工場、物流センター、営業所、店舗が被害を受け、仙台工場を閉鎖することといたしました。実質損害額や業績への影響などは現時点では確定しておりませんが、仙台工場以外の拠点は順調に復旧しております。

当社は今年、創立80周年を迎えます。創立100周年を見据えて、今後とも、さらなるステップアップを目指し、新中期経営計画「MVP88 Step1 CHANGE『改革』」の実現に向け、全社一丸で邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「100周年への礎」を築くための段階的な取り組み



M (Morozoff) V (Victory) P (Plan) 88 (88周年を目指した)



代表取締役会長
川喜多 佑一



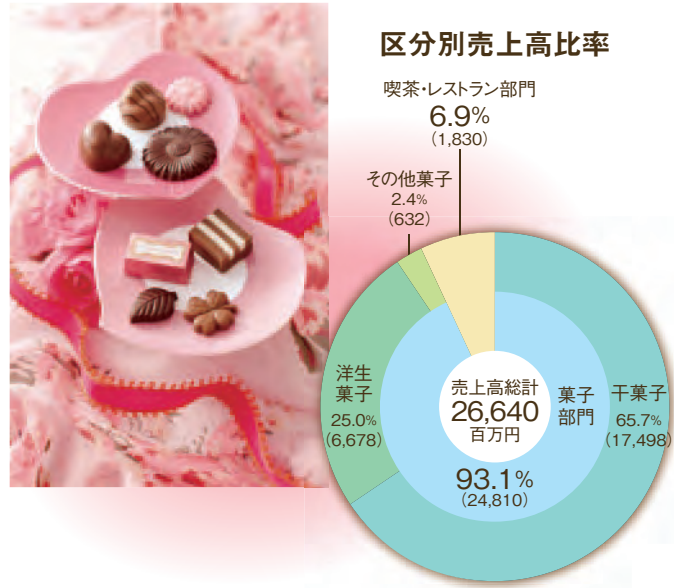
代表取締役社長
山口 信二

平成23年4月

営業の概況

チョコレート、焼菓子、チーズケーキ、プリンなどの基本商品の売上の向上、イベント商品の強化、駅ナカ、道ナカ、インターネット通販など新販路の開拓、季節感を演出する店頭展開、次世代ブランド「モロゾフグラン」「アレックス&マイケル」の育成などによって、売上獲得に努めてまいりました。しかし個人消費の冷え込みや百貨店の店舗閉鎖、夏場の猛暑などの影響を受け、売上高は26,640百万円(前期比2.6%減)となりました。

損益面におきましては、西神新工場の設備投資に伴う減価償却費など固定費の増加はあったものの、人件費・経費の圧縮などの効果により売上原価率が改善し、営業利益は400百万円(前期は118百万円の損失)、経常利益は425百万円(前期は79百万円の損失)、当期純利益は146百万円(前期は458百万円の損失)と黒字転換を果たすことができました。



菓子部門の概況

干菓子につきましては、次世代ブランドの出店、新規・改装店のオープンがあったものの、バレンタインデーやホワイトデーの売上高は曜日巡りの影響があり計画を下回りました。さらに、百貨店閉鎖の影響も受け、売上高は前期を若干下回りました。また、



洋生菓子につきましては、各種キャンペーンを展開しましたが、個人消費の低迷などによって低調に推移しました。その結果、菓子売上高は24,810百万円(前期比3.1%減)となりました。

※干菓子……チョコレート、クッキー、キャンディなど
洋生菓子……カスタードプリン、チーズケーキ、マドレーヌなど
その他菓子……アイスクリーム、焼きたてクッキーなど

喫茶・レストラン部門の概況

店舗の新規出店・改装、メニュー再編、集客イベントの開催などを通じて売上拡大を図った結果、喫茶・レストラン売上高は1,830百万円(前期比5.3%増)となりました。



インターネット通販限定の商品を販売しました

大人も感動する贅沢プリン ふわ生とろ〜り濃厚プリン

メインターゲットは30〜40代、「大人の週末デザートに、ちょっと“贅沢”なプリン」をコンセプトとして、2010年9月〜10月に限定販売いたしました。カラメルソース、カスタードプリン、クリームシャンティの3層仕立てで、リキュールが香るリッチで濃厚な味わいをお楽しみいただける贅沢なプリンです。



ネット限定で復活 デンマーククリームチーズケーキセット

2009年にチーズケーキ発売40周年を記念して販売した次世代スタイルのチーズケーキ「ザ・デンマーククリームチーズケーキ」と、モロゾフのチーズケーキ専門店でのみ取り扱った「エダムチーズケーキ」。品質と味にこだわり抜いた2種類のチーズケーキのセットをインターネット通販限定で復活させました。



エダムチーズケーキ

ホームページを全面リニューアルしました



トップページ



IRページ

当社は2011年4月、ホームページをリニューアルしました。IRや会社情報のページもデザインを一新し、よりわかりやすく情報をご覧いただけるようになりました。また、商品情報を積極的にアピールできるように工夫しました。

以前から好評だったメールマガジンサービスは継続し、ご登録いただいた皆様に新商品やキャンペーンなどのお得な情報をお伝えしてまいります。



商品紹介ページ

モロゾフは今年創立80周年を迎えます。これからも主要商品(6つの「C」)を育成してまいります。

創立80周年を記念して、オデット、カスタードプリン、クリームチーズケーキの復刻商品を発売いたします。



ロマンのあるスイート モロゾフ

「C」を頭文字にした主要商品を育成する決意

当社の主要商品は以下の様に「C」を頭文字にした商品が多く、今後もしっかり育成してまいります。

- CHOCOLATE (チョコレート)
- COOKIE (クッキー)
- CUSTARD PUDDING (カスタードプリン)
- CHEESE CAKE (チーズケーキ)
- CANDY (キャンディ)
- CAFE (カフェ)

「C」100周年に向けた長期ビジョン

- STEP1 CHANGE (改革)
- STEP2 CHALLENGE (挑戦)
- STEP3 CREATE (創造)

C hocolate

チョコレート

モロゾフの原点はチョコレートです。創立当時から上質な原材料にこだわり、本物の味をお届けしてきました。昨年、西神新工場が本稼働し、「チョコレート」のモロゾフとして、さらに前進する体制が整いました。今後も多くの方々に愛され続けるよう、ひと粒ひと粒に愛情を込めてお届けいたします。



チョコレート(1931年～)

C ookie

クッキー

フレッシュバターの風味豊かな「オデット」、ナッツを贅沢にトッピングした香ばしいマカロン「アルカディア」、薄いクッキーとまるやかなミルクチョコレートが絶妙な味わいの「ファヤージュ」。いつまでも愛され続けられるよう、ロングセラー商品となった今でも工夫を重ねています。



オデット(1973年～)

C ustard pudding

カスタードプリン

カスタードプリンは、当社が銀座で営んでいた喫茶店で誕生しました。その後陶器製だった容器をガラスに替えるなどの改良を重ね、現在のおなじみの容器になりました。発売以来「牛乳・卵・砂糖」を絶妙なバランスで配合し、まるやかなおいしさと、卵本来の力で固めたなめらかな仕上がりを守り続けています。



カスタードプリン(1962年～)

C heese cake

チーズケーキ

クリームチーズケーキは、当時の社長がドイツを視察中に西ベルリンで偶然出会い、その味に感動して商品化したしました。その後、レアチーズケーキや季節限定商品など、さまざまなタイプのチーズケーキを提供しております。こだわりの原材料を使用し、素材本来のおいしさが味わえる商品を作り続けています。



クリームチーズケーキ(1969年～)

C andy

キャンディ

キャンディは、チョコレートと並ぶ創立当時から伝統の商品。当初は大きなサイズの缶で販売していましたが、今は小さくてかわいらしいデザインの缶と、袋入りを販売しています。ストロベリー、オレンジ、コーヒーなどの風味を生かした宝石のようなひと粒は、ちょっとした贈りものにも最適です。



キャンディ(1931年～)

C afe

カフェ

当社が運営するカフェは、「空間こそが商品」という認識のもと、お客様におくつろぎいただける居心地のよい空間の提供に努めております。モロゾフならではの多彩なデザートや本格ソースが好評の pastaメニュー、そして心のこもったおもてなしで、充実のカフェタイムをお楽しみいただけます。



カフェ(1931年～)

日々忙しい大人の女性を応援するカフェデザート 「おうちカフェ」シリーズが好評

「おうちカフェ」は、日々忙しい生活を送る大人の女性が、ほっとひと息つくときにお召しあがりいただける、こだわりのデザートシリーズです。

第1弾は「生クリーム コーヒーゼリー(キャラメルマキアート)」。キャラメルゼリー、コーヒーゼリー、生クリームソースの3層仕立て、層と層が混ざり合ったときの絶妙な味がお楽しみいただける贅沢なデザートで、大変ご好評をいただきました。その後、「宇治抹茶・黒糖ミルクのムース」「生クリーム コーヒームース(カフェ ラテ)」、そして第4弾となる「生チョコレート コーヒーゼリー(カフェ モカ)」まで発売しております。



生クリーム コーヒーゼリー
(キャラメルマキアート)

生チョコレート コーヒーゼリー(カフェ モカ)

モロゾフのこだわり 発売40年を迎える「アルカディア」

ナッツひと粒をまるごとトッピングしロングセラーに 伝統の製法・味を守りつつ、新たな品種を追加

「古代ギリシャの理想郷」という意味を持つ「アルカディア」は、1971年、当時はめずらしかったマカロンタイプの焼菓子として誕生しました。希少価値の高かった外国産ナッツを使い、

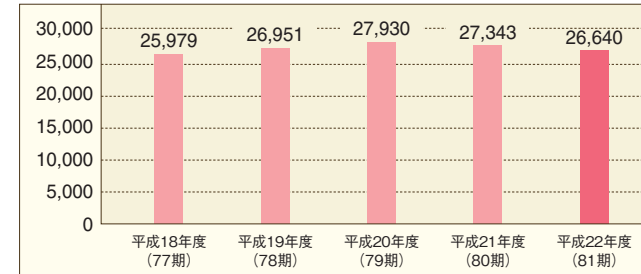
さくっと香ばしい食感に仕上げました。またナッツをひと粒まるごとトッピングした贅沢なお菓子として話題となりました。パッケージは日本古来の蒔絵の文箱をイメージしたデザインでお客様の注目を集めました。

発売40年のロングセラー商品、アルカディア。年月を経ても基本レシピを変えることなく、発売当初の味を守り続けていますが、季節限定で春には「さくら」、秋には「マロン」の味を販売しています。

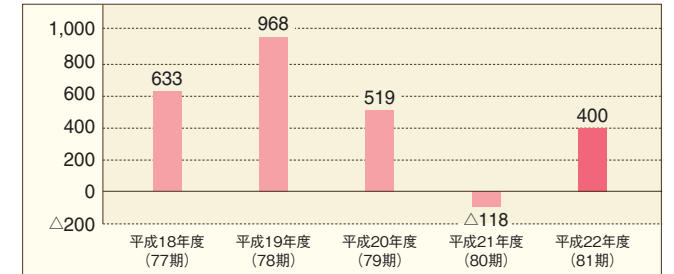
2010年秋には、新品種「チョコレートアーモンド」が加わり、さらに充実しました。今後も、多くの皆様に愛していただける商品として育ててまいります。



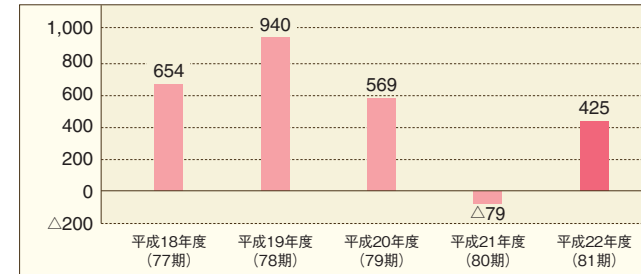
■売上高 (単位:百万円)



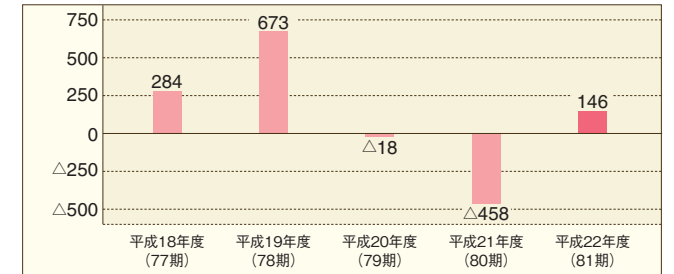
■営業利益 (単位:百万円)



■経常利益 (単位:百万円)



■純利益 (単位:百万円)



中期経営計画『Next M』の結果をご報告いたします

2009年1月期からスタートした中期経営計画『Next M』では、「中期経営計画の達成によるすべてのステークホルダーの満足度向上」を中期経営ビジョンとして掲げ、継続した売上向上と利益の確保を目指しました。

“4つのM”による活動結果

〈Must(責務) 財務〉

個人消費の低迷などから、売上高は計画数値を下回りましたが、営業利益率については、利益構造改革を検討する全社的なプロジェクト活動の取り組みなどにより、計画数値を上回ることができました。

	計画数値	結果	差異
売上高(百万円)	27,000	26,640	△360
営業利益率(%)	0.2	1.5	1.3

〈Meet(満足) 顧客〉

ISO14001の認証取得拡大を目指した活動などCSR活動に取り組みました。また、新販路拡大を図るため、全社的なプロジェクト活動を開始し、2011年4月には専任組織を立ち上げました。

〈Most(最上) 業務プロセス〉

事業所の統廃合による効率化を目指して2010年6月から西神新工場が本稼働いたしました。また、深江浜事業所の物流機能をアウトソーシングし、2009年8月には北港物流センターが稼働いたしました。

〈Master(伝承) 人材と変革〉

従業員の能力開発および育成とモチベーションアップを目指した新人事評価制度「M-MAP(モロゾフマップ)」を2011年2月から開始いたしました。

財務諸表

■貸借対照表

(単位:千円)

科目	期別	当期 (平成23年1月31日現在)	前期 (平成22年1月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		8,538,349	8,311,410
現金及び預金		798,853	528,074
売掛金		4,609,754	4,571,411
有価証券		300,148	100,049
棚卸資産		2,547,999	2,686,832
繰延税金資産		170,207	150,185
その他		129,685	292,856
貸倒引当金		△ 18,300	△ 18,000
固定資産		10,873,685	12,338,372
有形固定資産		8,786,321	9,918,664
無形固定資産		97,784	114,984
投資その他の資産		1,989,579	2,304,723
資産合計		19,412,034	20,649,782
(負債の部)			
流動負債		6,664,471	8,210,729
支払手形		1,774,416	2,515,424
買掛金		1,003,457	959,970
短期借入金		2,118,400	3,184,200
未払法人税等		388,432	75,957
その他		1,379,764	1,475,175
固定負債		1,986,163	1,629,006
長期借入金		1,357,400	955,800
繰延税金負債		113,324	22,155
再評価に係る繰延税金負債		268,501	531,710
退職給付引当金		53,685	52,223
その他		193,251	67,116
負債合計		8,650,634	9,839,735
(純資産の部)			
株主資本		11,152,616	10,788,349
資本金		3,737,467	3,737,467
資本剰余金		3,921,265	3,921,080
利益剰余金		3,607,133	3,218,835
自己株式		△ 113,249	△ 89,034
評価・換算差額等		△ 391,217	21,697
その他有価証券評価差額金		17,276	43,502
土地再評価差額金		△ 408,494	△ 21,804
純資産合計		10,761,399	10,810,047
負債・純資産合計		19,412,034	20,649,782

■損益計算書

(単位:千円)

科目	期別	当期 (平成22年2月1日から 平成23年1月31日まで)	前期 (平成21年2月1日から 平成22年1月31日まで)
売上高		26,640,777	27,343,267
売上原価		14,870,922	15,437,109
売上総利益		11,769,854	11,906,158
販売費及び一般管理費		11,369,766	12,024,447
営業利益又は営業損失(△)		400,087	△ 118,289
営業外収益		111,323	102,967
営業外費用		85,970	64,003
経常利益又は経常損失(△)		425,441	△ 79,324
特別利益		40,664	1,425
特別損失		81,461	542,114
税金前当期純利益又は純損失(△)		384,643	△ 620,013
法人税・住民税及び事業税		411,365	94,410
法人税等調整額		△ 173,685	△ 256,380
当期純利益又は純損失(△)		146,963	△ 458,043

■キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	期別	当期 (平成22年2月1日から 平成23年1月31日まで)	前期 (平成21年2月1日から 平成22年1月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,936,188	312,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 595,569	△ 2,437,306
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 869,741	2,070,208
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		470,877	△ 54,516
現金及び現金同等物の期首残高		628,124	682,641
現金及び現金同等物の期末残高		1,099,001	628,124

会社情報／株式情報

■会社概要 (平成23年1月31日現在)

商号 **モロゾフ株式会社**
Morozoff Limited
設立 昭和6年8月8日
従業員数 816名
上場証券取引所 大阪市場第1部・東京市場第1部
事業所 営業所
本社(神戸) 御影オフィス併設・六甲アイランドオフィス(神戸)・関西支店(神戸)・東京支店・名古屋支店・福岡支店・北海道営業所(札幌)・仙台営業所
工場 西神工場(神戸)・六甲アイランド工場(神戸)・船橋工場・福岡工場・札幌工場・仙台工場

■役員 (平成23年4月27日現在)

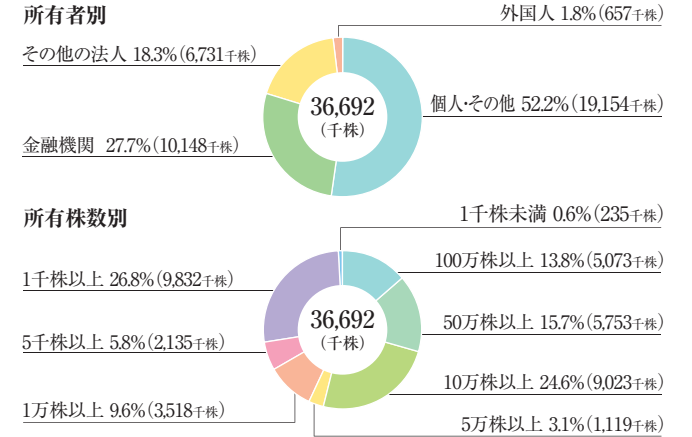
代表取締役会長 川喜多 佑一
代表取締役社長(マーケティングセンター長) 山口 信二
代表取締役専務(経営統括本部長) 尾崎 史朗
常務取締役(経営統括本部副本部長) 山岡 祥記
常務取締役(営業本部長) 川窪 一明
常務取締役(生産本部長) 賀集 輝昭
取締役(生産本部副本部長) 杉本 直隆
常勤監査役 山本 茂伸
常勤監査役 乾 治彦
監査役 高橋 純子
監査役 佐藤 徹

(注)監査役高橋純子および佐藤徹の両氏は、社外監査役であります。

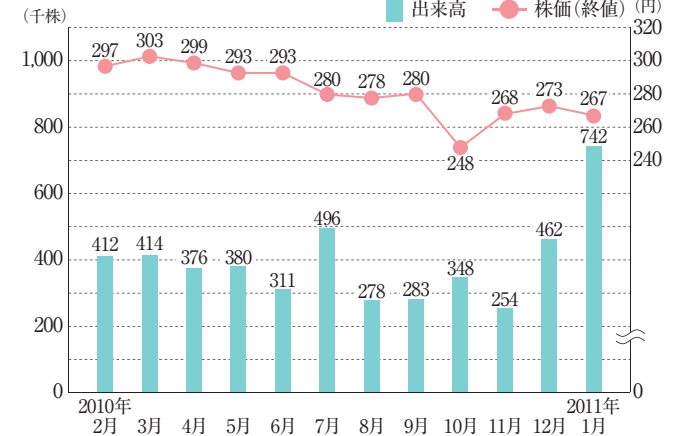
■株式の状況 (平成23年1月31日現在)

発行可能株式総数	120,000,000 株
発行済株式の総数	36,692,267 株
株主数	9,871 名
うち単元株主数	7,927 名

株式分布状況



株価・出来高



■株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月中
基準日	定時株主総会・期末配当 1月31日 中間配当 7月31日
公告方法	電子公告 http://www.morozoff.co.jp/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎(通話料無料)0120-094-777

【ご注意】

- ◎株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ◎特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
お手続き用紙のご請求は、次の電話およびインターネットでも24時間承っております。
☎【通話料無料】 0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daiikou/>
- ◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主様に対する特典

1,000株毎に1冊(10枚綴)の割合で 優待券を発行いたします。

- ◎優待券は、毎年1月31日および7月31日現在で、1,000株以上ご所有の株主様に対して発行いたします。
- ◎優待券は、1月31日割当分は4月下旬に、7月31日割当分は10月上旬に発送いたします。
- ◎当社の指定店(平成23年4月1日現在61店舗)および通信販売にて優待券1枚につき税込1,050円(本体価格1,000円)までの現金でのお買上げ、ご飲食に対して20%を割引させていただきます。
※指定店、有効期限など、詳細は優待券または当社ホームページをご覧ください。

長期保有の株主様への特別優待

- ◎毎年7月31日現在で、1,000株以上を3年以上継続して保有の株主様に対して、年1回2,000円相当の自社商品をお送りいたします。
- ◎自社商品は、11月中旬に発送いたします。

単元未満株式の買増請求および買取請求について

単元未満株式(1,000株未満の株式)をご所有の株主様は、その単元未満株式について、1,000株になるまでの不足株式数を当社から購入(買増請求)することができます。
また、単元未満株式をご所有の株主様は、その単元未満株式を当社に売却(買取請求)することもできます。
お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社等で承ります。ただし、特別口座に記録された株式につきましては、三菱UFJ信託銀行で承ります。

モロゾフ株式会社

www.morozoff.co.jp



〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西五丁目3番地
☎078-822-5000 (代表)
(登記上の本社 神戸市東灘区御影本町六丁目11番19号)

表紙の商品
について

「フルーツ オブ フルーツ」

果実を閉じ込めた繊細なゼリー。
美しいガラス容器で新登場。

